

市長と語ろう！ in 西砂学習館 【 概 要 】

平成28年2月13日(土)

13時30分～15時

西砂学習館第1教室

1 開会の挨拶

(市長)

こんにちは。お手元に今年度スタートいたしました第4次長期総合計画の概要版があると思います。今後の立川市の10年をどのような形で経営していくか、どのような将来像のもとにまちづくりをしていくかということが書いてございます。平成28年度の予算編成も終わりました、来週から始まります市議会にご提案をして、予算をつくり上げていこうという段階になっております。

将来的な人口減少社会や超高齢、少子化社会は避けて通れない課題でございます。しっかりとした行政改革や財政改革をする中で、無駄を排除して、真に市民のためになる税金の使い道を考えていかなければならないと思っております。

極端な言い方をしますと、人口が減って今まで1,000人で使っていた施設を500人でしか使わなくなったとしましたら、2つの施設を統合して1,000人で使うような施設にしてもいいという考え方もあるわけです。

ただし、長い歴史の流れの中、特別な地域性もございますので、簡単にはいきません。しかしながら、現実には人口が減って、税収が減っていくとすれば、市民の皆様からお預かりした税を、効率的に、無駄のないようにしっかりと使っていくことこそが市としての役目であるということはおもう自明の理であります。それぞれの場所、それぞれの方々に丁寧な説明をしながら、行政を進めてまいりたいと考えております。

国が提供している地域経済分析システムによりますと、休日の立川市にはおよそ42万人が滞在しているだろうという推計があります。しかも、2時間以上滞在している人たちの推計です。このデータを解析した時点では、まだららぼーと立川立飛はありません。

このにぎわいを将来にわたって持続させる、あるいはもっとにぎやかなまちにしていくための仕掛けをしていかなければならないと思っております。3月の中旬には、JRの立川駅前の南北デッキで無料Wi-Fiサービスが開始されます。駅をおりてスマートフォンで立川の情報を入手していただいて、まちを回遊していただくためのしつらえをしています。

ファール立川アートをもっと売り出していくための仕掛けもやるつもりです。例えば、美術館へ行きますと、無線で作品の案内があります。ファール立川ではスマートフォン等で作品情報を読み取れるビーコンを導入しまして、外国人や観光客が十二分にアートを楽しむ仕掛けをしていきたいと考えています。

こういうことによって多くの人たちを立川に呼び、立川の繁栄を将来的にも持続をさせていこうという仕掛けを、今、始めているところでございます。

立川市の統一将来像は「にぎわいとやすらぎの交流都市 立川」です。にぎわいの部分が、立川駅を中心とする半径1.5キロ前後のところ。その外側のいわゆる住宅地の部分、こ

れがやすらぎです。市の北側には東西に玉川上水が流れています。南には多摩川が流れております。そして、その真ん中を残堀川が南北に貫いています。

こういう自然を大事にする中で、やすらぎを感じることでできるような住宅地の保全にも力を入れていくということです。一見、にぎわいとやすらぎというのは相反する命題であります。しかし、これが立川の特徴ということで、シティプロモーション、まちの売りの1つにも挙げていきたいと考えているところでございます。

市民の安全・安心、特に子育て支援の方策をしっかりと進めてまいりたいと考えております。3年後には保育園の待機児をゼロにしたい。また高齢対策として、地域包括支援センターを市内6つの区域に設けました。高齢者の方々のいろいろな悩みは、地域の包括支援センターでご相談していただくという方向性をつくりながら、安全で安心して住める地域づくりの一助にしたいと考えているところでございます。

実りある時間になりますこと、ご期待を申し上げ、挨拶とさせていただきます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

2 意見交換

(参加者)

私は「にぎわい」も大事だと思いますが、一人一人のか弱い市民が暮らしていくうえで、不便なことがいっぱい出てきているような気がします。

私は、立川駅の自転車置き場がなくなったことに泣いております。例えば女性総合センターアームをよく利用しています。アームの自転車置き場がありますが、すごく遠い上に坂をおりていくしくみです。足が悪い方などはとても大変そうでした。

アームに行くのに、自転車置き場が近くにないので、ちょっと手続に行くために、5分、10分で済むところを遠くから行かなきゃいけないのは本当に不便です。

今まで北口のモノレールの下に自転車置き場がありました。ほんとうに便利に使ってました。ぜひ市民のためにモノレール下の自転車置き場は復活していただきたいと思えます。

I KE Aとかいろいろなものができた中で、立川の商店街がちょっとシャッターが多いのが気になっています。市の施策というのはどういうふうになっているのか、お伺いしたいと思えます。

(市長)

これから先、駅の直近へ無料の駐輪場をつくるのは難しいです。土地の値段が一坪3,000万円もするところへ、無料の駐輪場を新たにつくっていくというのは難しい。

今までのモノレール下の駐輪場ですが、これから近くに総合病院が開院しますし、ららぽーとの帰りの人たちが大変多くなっています。また、近くの土地を地元の株式会社立飛ホールディングスが開発します。モノレール下の道路は人通りが激しくなります。そういうことありまして、無料の駐輪場を復活するのは困難になっております。

商店街についてです。例えば羽衣町では「元気を出せ！商店街」という都の補助金の中で、ねぶた祭りを開催しています。大変なにぎわいです。これを商店街の活性化のための起爆剤にするということです。

様々な補助金や融資の金利補助などの形で、改装資金や運転資金などの支援策を実施し

ております。

(参加者)

会館の今後についてお聞きします。これから人口も減るということですが、西砂町、一番町には、西に西砂会館、東に天王橋会館があります。現在、西砂支部の自治会連合会には13自治会ありまして、手持ちの自治会館があるのが大体3分の1、残り3分の2は自前の自治会館がありません。ですから、西砂会館や天王橋会館はかなり利用させていただいています。

ちょうど高度成長期に各地区に市立会館以外のこのような会館をつくりまして、建てかえの時期に来ているということですが、いずれは財政不足や人口減ということで縮小ということになる可能性があるかと思えます。それぞれの将来像をお聞かせいただければと思います。

(市長)

この西砂学習館は学習館という位置づけです。これは社会教育施設という位置づけになっております。西砂会館と天王橋会館は、学習等供用施設という別の用途の建物になっています。学習等供用施設の財源については、基地に隣接していることによる防衛省の補助金で建てています。

施設の今後については、地域性ということも考慮しながら検討していくことが必要です。

(参加者)

中学校のおいしい給食はいつごろ実現するのでしょうか。

(市長)

中学校の学校給食共同調理場については今、土地を探しています。

(参加者)

休日に40万人以上の方が立川市に滞在しているとの話がありました。もし災害が起きて、その40万人が駅前で滞留するという事になった場合の対策について、考えをお聞かせください。

(市長)

東日本大震災時に立川駅周辺では多くの滞留者がいましたが、東京の直下型地震が起きた場合には、立川駅周辺に約5万人の滞留者が出るだろうということで、準備をしています。立川駅周辺の学校はもちろんですが、デパート、一般の会社のロビーや休憩室などを一時滞在施設として確保するべく動いています。

しかし、一般企業の全面協力を得るのが難しい状況です。その理由は、東京都のマニュアルでは3日分の食料を用意しなさいとしているからです。例えばある会社で滞留者300人の受け入れをお願いするには、300人分の食料を3日分用意していただく必要があります。企業としては大変な負担です。そのため東京都に条件緩和を依頼しながら、一時滞在ができるような場所を準備しているところです。

(参加者)

人口がこれから減っていくという話がありました。西砂地域は人口が増えている状態です。小学校は増設されましたが、いろいろな公共施設をもう少し増やしてもらいたいです。こちらには「にぎわい」はないので、ゆとりのある地域に育てていただきたいと思います。

くるりんバスも皆さん利用されていますが、運賃の値上げがあるのではないかという話を聞きました。利用率が上がっているのに、値上げというのはおかしいのではないのでしょうか。

(市長)

人口が増えることに対しては、まず保育園の定員増を目指しています。保育園、それと学童保育所が足りないものですから、増やすという方向性です。

長い間、西砂地区は子育てひろばがありませんでした。去年、この教室の斜め向かい側の部屋に子育てひろばを開設しました。なぜ長い間できなかったかという、この会館が社会教育施設だからです。教育施設の中に子育てのための場を設けるということは、前例がありませんでした。一つ、大きな厚い殻を破りました。

将来的には立川のいろいろな施設は複合施設ということで活路を見出していかなければいけないということで、結果的に将来への布石が打てたと思っています。

くるりんバスについてです。立川市地域公共交通会議で審議をしていただきました。くるりんバスは税金で負担している部分があり、赤字です。そういう中で、民間バスの初乗りと同じ料金という答申をいただきました。やむを得ないと思っています。

(参加者)

地震のときに、テレビに立川市の震度が出ません。国分寺市や昭島市は出ています。立川市は人も多いのでなぜ表示がないのか不思議です。

(市長)

私もNHKのニュースを見ていまして、なぜ立川市の震度が出ないのだろうと調べているところです。調べてもわかりませんでした。

立川市では見守りメールという、登録者の携帯電話やパソコンにメールで、防災情報や防犯・学校の情報等さまざまな情報を配信するサービスを実施しています。皆さんに見守りメールに登録していただくために、3月の市の広報で登録先などの情報をしっかり掲載させていただきます。

(参加者)

買い物をするときは昭島に出してしまうことが多いです。そうすると、この間の立川市のプレミアム商品券も昭島市では使えないので、すごく損をしていると感じています。昭島でも使えるようにするとか、そうでなければ、西砂地区にも利用できるお店ができたらいなと思います。

(市長)

実際に商品券を扱えるような店舗がないと難しいです。今度は、物品の購入だけでなく、他のものにも使えるようなことを考えなければと思っています。

(参加者)

立川に引っ越してきて、たばこの吸殻がすごく多いまちだと感じました。立川駅周辺はまだ良くわかりませんが、公園や道路にとっても多いです。公園は子どもたちも利用しますので、是非聞いてみようと思って参加しました。

(市長)

立川市全域では、歩きたばこは禁止です。さらに立川駅を中心とする半径250メートル以内は、指定喫煙場所を除き屋外での喫煙も禁止です。

立川駅の南口と北口には、それぞれ2か所ずつ喫煙場所がありますが、今年の7月ごろまでに、全部撤去していきたいと考えています。現在の喫煙所には、巡回して吸殻を回収する作業員がいます。その作業員には、今後はポイ捨てや喫煙のパトロールをやってもらいます。

公園に吸殻が多いというお話がありました。早速、公園緑地課のほうにも話をして、対策を考えてまいります。

(参加者)

西武立川駅の北口が開設して、南口にはスーパーやマンション、住宅地が開発され、駅周辺が相当変わってまいりました。同時に、人口も増え、子どもも増えてまいりました。

天王橋駐在所がありますが、駅前の交番があってもよいと思うのですが、いかがでしょうか。

(市長)

確かに現在の場所よりも西武立川駅前のほうが効率的だと思います。交番の位置は東京都が決めていますので、住民の方からの意見ということで伝えてまいりたいと思います。

(参加者)

けやき台小学校と若葉小学校の統廃合の話聞き、市の説明会に参加しました。けやき台小学校に統合するというお話でした。PTAの会長さんが署名を集めて、市議会に請願が提出されたという話ですが、保護者やPTAの会でも全然統合の話をしなかったと聞いてびっくりしました。

けやき台小学校は運動場が狭いし、教育はやはり十把一絡げではなくて、少ない人数でやっていくのが、ほんとうに子どもたちを育てることになると思います。

私は、昔は小学校に携わっていましたが、少ない人数だと、先生とのコミュニケーションがとりやすいですし、大きな学校になったらほんとうにわさわさしてしまいます。けやき台小学校に元いらしたという先生のお話を聞いたら、運動場が狭くて50メートルの直線がとれないそうです。そこに大勢の子どもたちが押しかけたらと思うと、ほんとうに心配しています。

学校は地域の防災の拠点にもなります。若葉地域の学校がなくなることによって、コミ

コミュニケーションの拠点がなくなるということで、とても大きな問題だと思います。当初1,200名ほどの署名が市に届けられて、その後、お母さんたちが聞いてびっくりして7,000名ほどの反対署名が出たにもかかわらず、市議会でも取り上げてもらえませんでした。地域の人たちの意見を聞いていただいて、即統廃合ではなく、時間をかけて話し合っほしいです。子どもたちが特に五日市街道を渡って通学するので、小さい子どもたちがそういう遠い道に行くということがないように、ぜひお願いしたいと思います。

やはり教育には効率だけではなく、お金をかけてほしいと思います。

(市長)

これは地域の方々の請願が市議会に出されて、それを市議会が採択しました。それに基づいて、市の教育委員会が、今、動き出したということです。

(参加者)

P T Aの会長など、リーダー格の方が請願されたということを聞いています。それに対してP T Aの総会やお母さんたちの話を聞いてということではなかったらしいです。

(市長)

そのお話になりますと、私がP T Aの皆さんなどにどうこうするわけにはまいりません。市長としては越権行為です。私としては、地域の皆さんへそういう形で介入をしていくというつもりは全くありません。

(参加者)

決めるまでにはまだ時間があるということでしょうか。7,000名の反対署名があったにもかかわらず、市議会では不採択となりました。

(市長)

私は市議会のメンバーではありません。市議会という別の機関で決めていただいたことが市へ送られました。それでは説明をしましょうという形で、教育委員会が中心となって説明をしています。

(参加者)

そうすると、もう決めたということになるのですか。

(市長)

そういうことではありません。今、説明をしているところです。

これは別の交通のことになりますが、五日市街道を子どもたちが渡るから危険なのでこの学校はだめだということは、私は納得しておりません。立川市内の小中学校の中で、五日市街道や立川通りなどを渡らず通学できる学校はまれです。けやき台小学校や若葉小学校の子どもたちだけが危険だから渡るのはだめだとおっしゃりましても、私は理解できません。

(参加者)

子どもたちの危険を除去して、地域の近くで学校に通うのが、小さい子どもたちにとっては大事なことだと思います。

人口が少なくなるという見通しということも聞きましたが、それはそのときになって考えれば良いのではないのでしょうか。

(市長)

10年、15年というのはすぐですので、そのときになったら遅いです。公教育において生徒が少なければ少ないほど良いというのは、よくわかりません。

(参加者)

ヨーロッパは生徒が少なく、学校が成り立っています。

この問題については、地域の保護者の人たちがまだもう少し検討する余地があるということですか。

(市長)

市民の皆さんが議論して進めることです。私は介入するわけにはいきません。

(参加者)

新しい清掃工場の計画について、今後の予定はどうなっているのでしょうか。計画では大山団地の近くですが、住民の方には賛同をいただいているのかお聞かせください。

(市長)

現在の若葉町の清掃工場には、100トン炉が一つと90トン炉が二つあります。おかげさまでごみの分別が進み、ごみが減っています。昨年12月まとめた新清掃工場の基本的な考え方では、約130トン規模の炉を想定しています。平成34年度中の稼働を目標としています。

大山団地を中心とする自治会の皆さんへの説明会を、1月末に開催しました。まだ賛成という具体的な明言はいただいておりますが、その説明会では、むしろ進捗が遅すぎるというご意見をいただきました。そのような状況でございます。

(参加者)

西砂地区に対してはあまりにぎわいを求めることが難しいとは思いますが、市長はこの西砂地区にどうあってほしいとお考えなのかお聞きしたいです。

(市長)

にぎわいをイメージしているのは立川駅周辺です。立川には大規模な生産工場はありません。金融や物販、ITなど、いわゆるサービス関係の業種が集中しています。デパートが複数あるというのは象徴的なことです。全ての都市銀行の支店がありますし、証券会社も何社もあります。

旧砂川地区は、私はやすらぎのエリアであると思っています。多くの農家が植木と野菜を生産しています。緑が身近にあると感じられます。また、多くの農家が生産緑地制度を

受け入れています。これは、代がわりしない限り農地以外のものに利用してはいけないという制度ですので、緑を確保できていると思っています。

3 閉会の挨拶

(市長)

今日は出席者全員のご発言をいただきました。大変ありがとうございます。

今後も、いただいたご意見を可能な限り反映できるような方策をとってまいりたいと思っております。ありがとうございました。